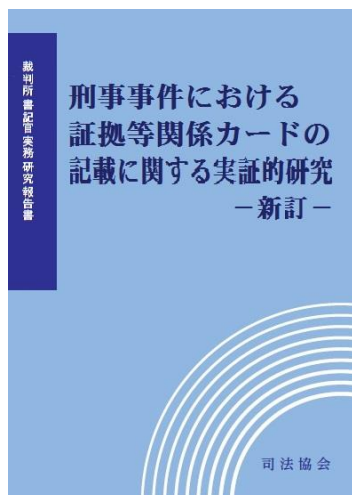


刑事事件における証拠等関係カードの記載に関する実証的研究 —新訂—



監修 : 裁判所職員総合研修所
 定価 : 本体 3,500 円+税
 判型 : B5 判
 ページ数 : 296 ページ(本文 274 ページ)
 ISBN : 978-4-906929-50-4
 発行 : 平成 28 年 6 月

内容

刑事事件における証拠等関係カードの作成事務については、平成5年度裁判所書記官実務研究報告書において、最初の考え方が示され、20年以上もの長い間、先駆的役割を果たしてきました。しかしながら、この間、被害者保護のための諸制度、即決裁判手続、公判前整理手続、そして裁判員制度等新しい制度が導入され、カードの目的がこうした新しい制度に対応できているのかを検討する必要が求められるようになりました。

本書は、平成5年の研究報告書を基にしながらも、新しい要求に応えるために根拠と目的を踏まえた合理的な事務の在り方を再検討し書き改められたものです。刑事実務に携わる書記官、裁判官はもとより、検察庁職員、刑事事件に関わる弁護士等にとっては記録を読み取る知識として必要な資料です。

目次(抄)

序 論	第3章 証拠別による証拠調べ手続とカードの記載	第5章 公判前整理手続におけるカードの記載
第1 研究の目的及び方針	第1 書証(証拠書類)	第6章 控訴審におけるカードの記載
第2 研究報告書の構成	第2 証人	第1 控訴審における事実の取調べ
第1章 証拠等関係カード総論	第3 証拠物	第2 控訴審における被告人をめぐる問題
第1 証拠等関係カード作成事務の意義等	第4 証拠物たる書面	第7章 破棄差戻し審におけるカードの記載
第2 カードの機能	第5 写真	第1 破棄差戻し後の第一審手続
第3 カード作成事務の在り方について	第6 映像・音声記録媒体	第2 破棄差戻し後の控訴審手続
第2章 証拠等関係カードの記載要領	第7 鑑定	第8章 再審請求事件におけるカードの記載
第1 カードの様式等	第8 通訳・翻訳	第1 再審事件の概要
第2 カードの記載基準	第9 検証	第2 再審請求手続
第3 カードに記載する事項	第10 公務所等への照会	第3 再審公判手続
第4 カードの記載要領一般	第11 書類等の取寄せ	第4 記録の編成について
第5 被告人1名用カード各欄の記載要領	第12 押収・搜索	
第6 被告人複数用カードの記載要領	第13 被告人質問	
第7 続カードの記載要領	第4章 各種手続とカードの記載	
第8 一括記載の要領	第1 職権による証拠調べ	
	第2 公判期日外の証拠調べ	
	第3 公判手続の更新	
	第4 簡易公判手続	
	第5 即決裁判手続	
	第6 弁論の併合・分離	
	第7 その他の手続	